

偕樂園
好文亭

No. 046666



烈公梅



好文亭 (こうぶんてい)

偕楽園は、水戸藩第九代藩主徳川斉昭（烈公）が「民と偕ともに楽しむ」という趣旨に基づき自ら構想を練り創設したもので、天保12年4月に建設に着手し、翌13年（1842年）7月に竣工開園しました。

好文亭は斉昭がその位置や意匠について定めたといわれ、偕楽園の創設と同時に建てられました。好文亭の名は梅の別名「好花木」に由来し、二層三階建ての好文亭本体と平屋建ての奥御殿を総称して好文亭と呼んでいます。各所に創意工夫と酒脱さを感じさせ、斉昭はここに文人墨客や家臣、領内の人々を集めて詩歌や慰安の会を催しました。

特に、三階楽寿楼からの千波湖や田鶴鳴梅林などの眺めは素晴らしいものがあります。

*本券を持って領収書にかえさせていただきます。

偕楽園	所在地：水戸市常磐町1-3-3 休園日：なし 指 定：大正11年（1922年）「史跡名勝」 開園時間：午前6時～午後7時（2/20～9/30） 午前7時～午後6時（10/1～2/19）
好文亭	観覧時間：午前9時～午後5時（2/20～9/30） 午前9時～午後4時30分（10/1～2/19） 休亭日：年末3日（12/29～12/31） 好文亭(料金所) TEL (029)221-6570

大人
¥200

〒310-0912 水戸市見川1-1251
茨城県水戸土木事務所偕楽園公園課
TEL 029-244-5454